

患者の皆様へ

2017年8月16日

血液内科

現在、血液内科では、「第12次ATL全国実態調査」に関する研究を行っています。今後の治療に役立てることを目的に、この研究では成人T細胞白血病リンパ腫・リンパ腫（ATL）の患者さんの診療情報などを利用して頂きます。診療情報などがこの研究で何のために、どのように使われているのかについて詳しく知りたい方は、下記の窓口にご連絡ください。

1. 研究課題名 「第12次ATL全国実態調査研究」

2. 研究の意義・目的 「成人T細胞白血病・リンパ腫（ATL）は日本での年間ATL発症は約1000名と推定されており、希少な悪性腫瘍の1つです。ATLの治療成績は、これまで行われてきたいくつかの臨床試験により少しずつ改善してきましたが、最新の治療法が全国の医療施設にどの程度普及しているか、その実態は明らかにされておらず、病型別の標準的治療方法は確立されていません。さらに近年、ATLに対する新しい診断・治療方法が開発され、従来の診断基準では対応できない治療開始基準設定の問題や診断・治療の施設間格差の問題、新たな病型分類の提唱など、解決すべき新しい問題が生じてきています。本調査研究では臨床情報のみならず家族歴など背景因子を含む臨床疫学調査を行い、本邦におけるATLの病像の実態とATL発症の地域特性を明らかにし、過去の全国実態調査結果と比較検討し、近年のATL病態の特性を明らかにすることを目的としています。最終的にATLの診療体制の整備に寄与することを目的としています。」

3. 研究の方法 研究では、全国の施設にアンケート調査を行い、患者さんの数と病像の実態について調査します。

4. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は匿名化された番号で解析され、外部に洩れることのないように厳重に管理します。研究成果の発表にあたっては、患者さんの氏名などは一切公表しないこととします。データ入力後の調査用紙と対応表は、国立がん研究センター東病院の鍵のかかる庫に保管します。

5. 研究に診療情報などを利用して欲しくない場合について

ご協力頂けない場合には、原則として結果の公開前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

文部科学省・厚生労働省による「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に基づいて掲示を行っています。

研究実施機関：埼玉医科大学国際医療センターを研究代表機関とする多施設共同研究：千葉大学医学部附属病院血液内科を含む全国の施設（日本血液学会血液疾患登録施設、皮膚悪性腫瘍学会データベース参加施設、がん拠点病院および第11次調査協力施設：計375施設）

本件のお問合せ先：埼玉医科大学国際医療センター造血管腫瘍科 塚崎邦弘

〒350-1298 埼玉県日高市山根1397-1 TEL：042-984-4111

当院のお問合せ先：医学部附属病院血液内科 医師 塚田恵美子 043-222-7171（内線5259）